



2022年2月10日

各位

会社名 一正蒲鉾株式会社
 代表者名 代表取締役
 社長執行役員 野崎正博
 (東証第一部 コード番号 2904)
 問合せ先 取締役 常務執行役員
 経営企画部長 高島正樹
 (TEL 025 - 270 - 7111)

2022年6月期第2四半期(累計)連結業績予想値
 と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年8月6日に公表した2022年6月期の第2四半期(累計)(2021年7月1日～2021年12月31日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年6月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2021年7月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2021年8月6日)	百万円 18,500	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 800	円 銭 43.40
実績(B)	17,593	777	831	631	34.28
増減額(B-A)	△906	△422	△368	△168	—
増減率(%)	△4.9	△35.2	△30.7	△21.1	—
(ご参考)前年第2四半期実績 (2021年6月期第2四半期)	19,571	1,553	1,585	1,225	66.50

(注) 前連結会計年度の実績については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用前の数値を参考に記載しております。

2. 差異の理由

売上面については、水産練製品・惣菜事業は、健康志向のなか主力商品群の「カニかま」は引き続き堅調を維持し、調理済みおでんも秋口は気温が低めに推移したことでその簡便性から需要は高まった一方、揚物類は弱含みました。きのこ事業は、天候が比較的安定し野菜の生育も順調であったことで価格が軟調に推移し、加えてマーケットへの供給が多くなされたなか需要自体が弱含んだことから、総じて厳しい状況が続き、予想を下回る結果となりました。

利益面については、売上高の予想値未達に加え、主原料のすり身価格は依然として高値の状況が続き、世界的なエネルギー価格の上昇や穀物等の天候不順による生産量減少での食油の値上げなどもあり予想を下回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2021年8月6日に公表した業績予想から変更はありません。また、新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以上